

平成27年11月13日

現場見学会の結果報告

○見学会の目的

現場見学をとおして今後の業務の参考とするため

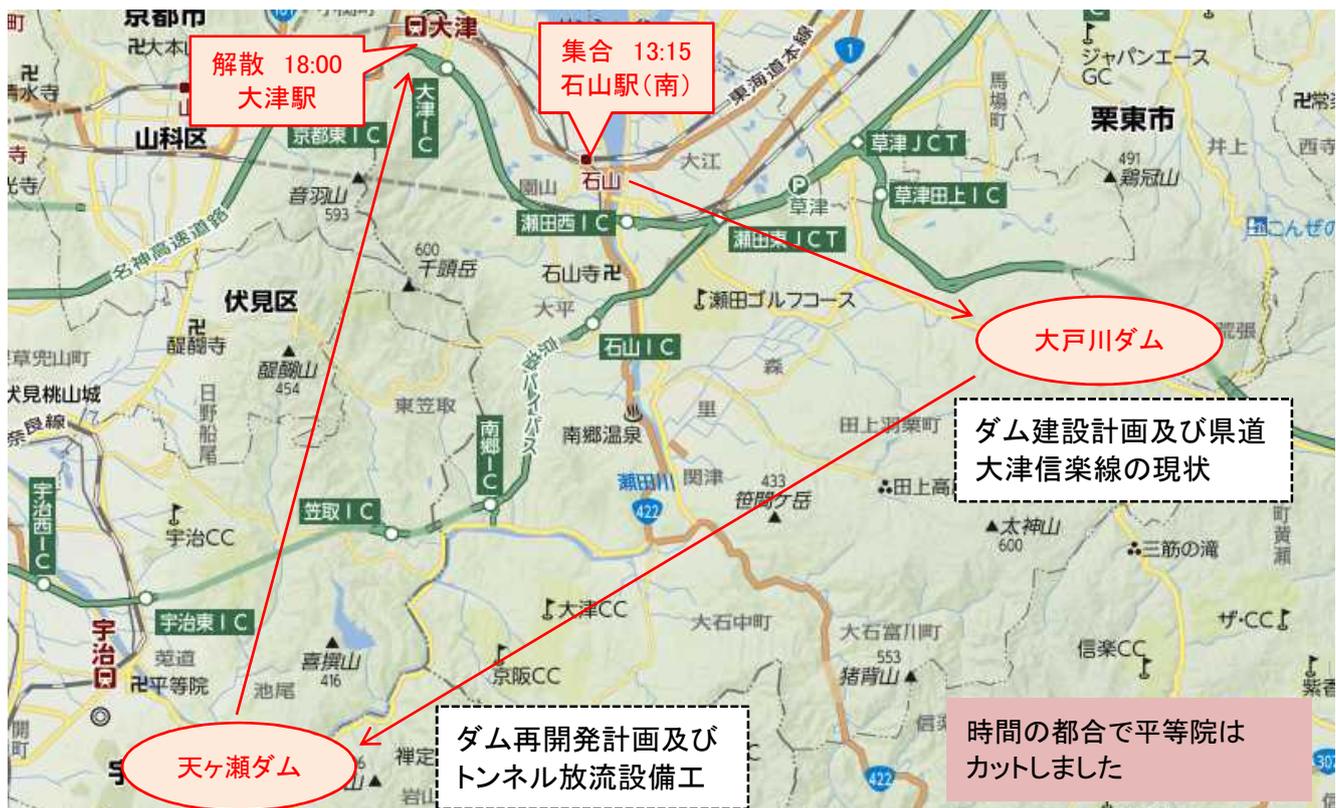
○現場見学会参加者

S48中谷さん・S55石田会長・S56田中副会長・H5川又事務局員・H10大田原さん・H11渡部さん・H14辻さん・H15小野さん・H20和田さんの10名が参加

○懇親会参加者 ……多少現場見学会の参加者と入れ替わり

S48中谷さん・S55石田会長・S56田中副会長・H5川又事務局員・H5松本さん・H11渡部さん・H13上村さん・H20和田さんに大戸川ダム工事事務所長のS54平松さんの10名が参加

○現場見学行程



(レンタカー2台で移動)

◇大戸川ダム関連工事現場（付け替え道路の県道大津信楽線の工事現場）



（情報）

S43(1968)に予備調査開始

H 1(1989)に建設事業採択

H10(1998)水没地の大津市大鳥居地区の移転完了

H11(1999)付け替え県道の県道大津信楽線工事着手

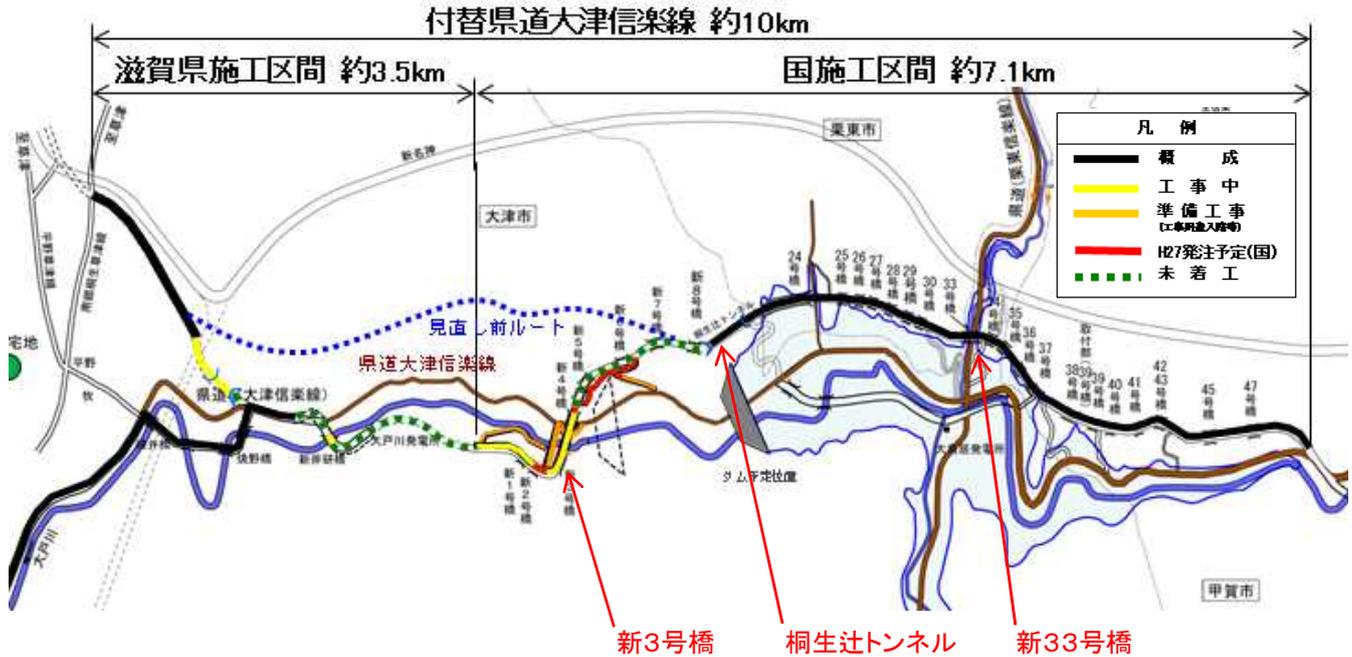
全体約10kmの内、上流側約7.1kmを国が、下流側3.5kmを県が整備

〈現在の状況〉 …… 下図参照

ダム検証中(ダム整備の○×)

国整備区間: 信楽側の5.0kmの整備が完了。

県整備区間: 一部完成で現在トンネル部の工事中。



▼新3号橋(L267m・PC3経間連続ラーメン箱桁橋)工事現場（P1の現場にて）



P1工事現場



中谷さんと平松所長



工事事務所の方から説明



請負者の方から説明

▼桐生辻トンネル<完成>・新8号橋現場



この先が新8号橋



新8号橋の下部は完成



ダム軸付近で記念撮影

▼新33号橋(県道栗東信楽線との交差点)現場



表層を残すだけの道路を移動



新33号橋(奥は新名神)



またまた記念撮影

◎大戸川工事事務所の皆さんや現場で説明して下さった皆さんありがとうございました。

◇天ヶ瀬ダム再開発工事現場（トンネル放流設備工事現場）



（情報）

S39(1964)に天ヶ瀬ダム完成(多目的ダム)

S50(1975)に予備調査開始(再開発)

H25(2013)トンネル本体工事着手

H30(2018)事業完成予定

○再開発事業とは

・治水(洪水調整機能の強化)

下流域:下流河道の硫化能力向上(工事中)と併せてダムからの放流量を増加させることで洪水時の貯水容量を効果的に活用。

上流域:放流量の増加で琵琶湖の水位を速やかに低下。

・利水(水道・発電)

水道:貯水池運用の効率化によりより多くの取水が可能。

発電:上流の喜撰山ダム(関西電力の揚水式発電用ダム)により多くの送水可能。

〈現在の状況〉

流入部(ダム湖)～吐口(宇治川)まで工事中

▼天ヶ瀬ダム



琵琶湖河川事務所の方から説明を受ける



左から小野さん・和田さん・
大田原さん・中谷さん



左から辻さん・田中さん



左から渡部さん・川又さん・多賀さん



天ヶ瀬ダム本体



ゲート(発電用)の奥が流入部工事箇所

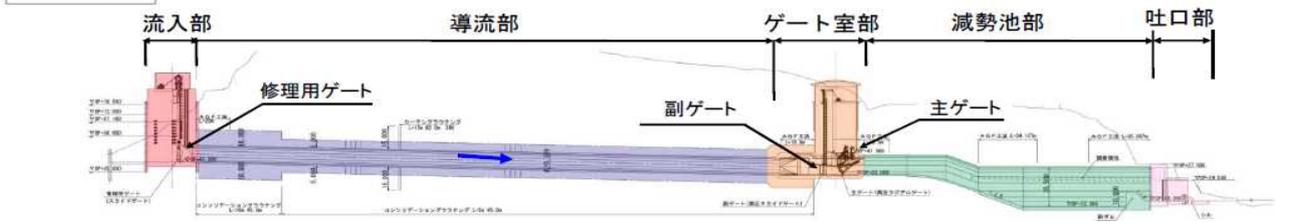
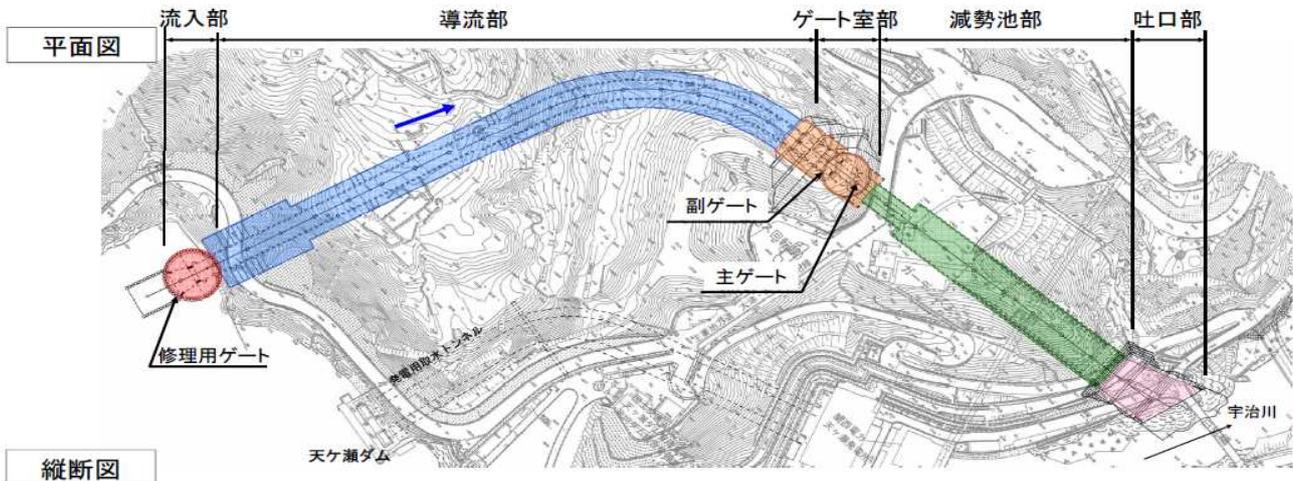
▼トンネル式放流設備(計画概要)

■施設の構成と役割

・天ヶ瀬ダムのトンネル式放流設備は、次の5つの施設で構成されます。



- ・ **流入部** : トンネル式放流設備の入り口です。緊急時や修理時に流水を遮断する「修理用ゲート」を設置しています。
- ・ **導流部** : 流水を下流に導くトンネルです。内径10.3mの大規模円形トンネルです。
- ・ **ゲート室部** : 放流量を調節するゲートがある施設です。「主ゲート」と「副ゲート」を各2門設置しています。
- ・ **減勢池部** : 放流水の勢いを緩めるための施設です。周辺環境に配慮し、トンネル内部に配置しています。
- ・ **吐口部** : トンネル式放流設備の出口です。



▼トンネル式放流設備(導流部・ゲート室部)



ゲート室部の地上



昇降機で地下へ
(外から見るとちょっと不安...)



中はこんな様子(定員6名)



巨大なゲート室部(奥が吐口部)



ゲート室部(奥が導流部)



導流部(直径10.3m)



一般的な道路トンネルと異なり水圧に耐えるよう鉄筋コンクリート



請負者の方から説明を受ける



頂いたダムカード(表)

 **火を吹いている訳ではありません。**

放流状態の確認のため照明を当てた状態とか・・・。

◎琵琶湖河川事務所の皆さんや現場で説明してくださった皆さんありがとうございました。

DAM-DATA

所在地：京都府宇治市
 河川名：淀川水系淀川（宇治川）
 型式：ドーム型アーチ式コンクリートダム
 ゲート：クレスト ラジアルゲート×4門
 コンジット 高圧ローラゲート×3門
 （予備）高圧キャタピラゲート×3門
 堤高・堤頂長：73m・254m
 総貯水容量：2,628万m³
 管理者：国土交通省
 本体着工/完成年：1961/1964年

ランダム情報

ダム上流には、日本最大の湖である「琵琶湖」があり、ダム下流約2kmには世界遺産である「平等院」「宇治上神社」などの観光資源がある。平成26年11月に竣工50年を迎えた。

こだわり技術

現在天ヶ瀬ダムでは、既設ダムの機能増強を目的にトンネル式放流設備を新設する再開発事業を実施中です。トンネル式放流設備は〔最大トンネル径23m、高さ26m〕と、完成すれば水路トンネルとしては「日本最大級のトンネル」となります。

頂いたダムカード(裏)

◇見学会後の懇親会（大津駅前やま喜にて）



乾杯～



左から和田さん・多賀さん・渡部さん
・川又さん



懇親会から参加の松本さん・上村さん



左から平松さん・田中さん・中谷さん

◇見学会参加者からの感想など

- Aさん： 現場見学会、ありがとうございました。初めての試みで段取り等ご苦労されたことと思います。思いのほか(失礼)良かったので、このような機会があれば是非参加したいと思います。
- ・普段は入ることができない工事現場を見学でき貴重な体験となった。
 - ・少人数だったので、説明者の方に気軽に質問出来て良かった。
- Bさん： 見学会ありがとうございました。国交省の施工現場を見学する機会などなく、また、県で施工することがあまりないような構造物を見させていただき、大変よかったです。
- Cさん： いろいろありがとうございました。
- Rつながりで、いい研修でした。人数的には受け入れ側の都合もあり、天ヶ瀬は特に適切な人数と思います。→現場では作業の待ち時間が生じていた。
- 参加人数は多い方が波及効果があっているのですが場所により柔軟に考えるべきでしょう。いずれにしても普段近づけない処へ行けるのは勉強になります。また人のつながりが広がるという面でも効果ありですね。
- 今後も場所・規模を工夫しながら続けるといいと思います。今後ともよろしく。

◇見学会を終えて

まずは参加者の皆さん・現場で説明をしてくださった皆さんに感謝します。

今回の現場見学会は、最近の滋賀建設会の活動が総会(主に懇親会)・名簿・便り作成が中

心で、会則の”土木技術の健全な発展”に何か寄与できないかと企画しました。

今回は参加者募集の周知方法・期間など色々反省すべき点もあったと思います。

今後も年1回程度開催したいと考えますのでご意見・ご提案をお待ちしております。 [会長]